

NetSkateKoban

センサファームウェア一括更新ツール
マニュアル v1.1



目次

1 NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールについて	4
2 ファームウェア一括更新ツールのインストール	5
3 ファームウェア一括更新ツール用 CSV ファイルを出力する	6
4 出力された CSV ファイルを編集する	9
■ CSV ファイルのフォーマット	9
5 NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールを実行する	11
6 エラー対処	16

2007年7月20日発行(Ver1.0)

2007年8月20日第2版発行(Ver1.0)

2010年4月30日第3版発行(Ver1.1)

2017年8月23日第4版発行(Ver1.1)

株式会社 サイバー・ソリューションズ

〒989-3204

宮城県仙台市青葉区南吉成 6-6-3 ICR ビル 3F

URL : <http://www.cysol.co.jp/>

1 NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールについて

NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールは複数台の NetSkateKoban センサ（アプライアンス版）に対して、最新のファームウェアアップデート用ファイルを用いてファームウェアの更新を一括で行うことができます。

※ NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールは NetSkateKoban センサ SES-01-04、SES-05、SES-06、マルチ VLAN センサ、1 I/F マルチ VLAN センサ SMVLS-EX-01 に対応しています。

※ Ver4.0 以降からのアップデートに対応しています。

NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールを使い、ファームウェアの更新を行う手順は以下のとおりです。

1) NetSkateKoban センサの最新のファームウェアアップデート用ファイルを準備する

- 任意のフォルダに更新したい型番のファームウェアアップデート用ファイルを一式置く
- ファームウェアアップデート用ファイル名は以下のような形式です

Patch-<Model Number>_<Old Version>-<New Version>[-optional].tar.gz

例) NetSkateKoban センサ (SES-05) ファームウェアアップデート用ファイル

Patch-SES-05_4.0.0-4.1.0.tar.gz

2) NetSkateKoban コンソールからファームウェア一括更新ツール用 CSV ファイルを出力する

3) 出力された CSV ファイルを編集する

4) NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールを起動し、ファームウェア更新の実行をする

2 ファームウェア一括更新ツールのインストール

1. NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールの“FirmUpdater.zip”パッケージを展開する
NetSkateKoban コンソールをインストールした PC 上で“FirmUpdater.zip”を展開します。

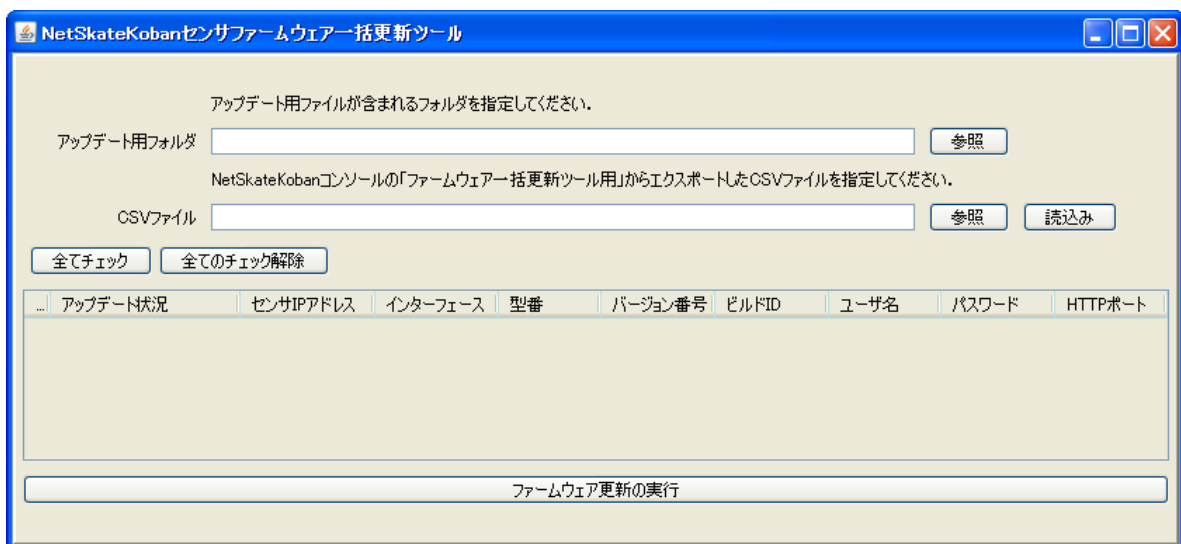
展開先フォルダ（例. FirmUpdater フォルダ）内に以下のファイルが正しく保存されているか確認してください。

- FirmUpdater.exe
- FirmUpdater.lax
- koban_multiple.jar
- lax.jar

2. NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールをコピーする

NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールを実行する前に、FirmUpdater フォルダを NetSkateKoban コンソール（Ver4.1 以降）がインストールされたディレクトリ内にコピー（または移動）します。

FirmUpdater フォルダ内の FirmUpdater.exe を実行することで NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールが表示されます。



※FirmUpdater.exe 実行時に「Java VM の読み込み中に Windows のエラー2が発生しました」というエラーが表示された場合には FirmUpdater.lax をテキストエディタで開き、lax.nl.current.vm の値を PC にインストールされている Java のパスに変更してください。

例)

```
lax.nl.current.vm=C:\Program Files\Java\jre1.8.0_144\bin\java.exe
```

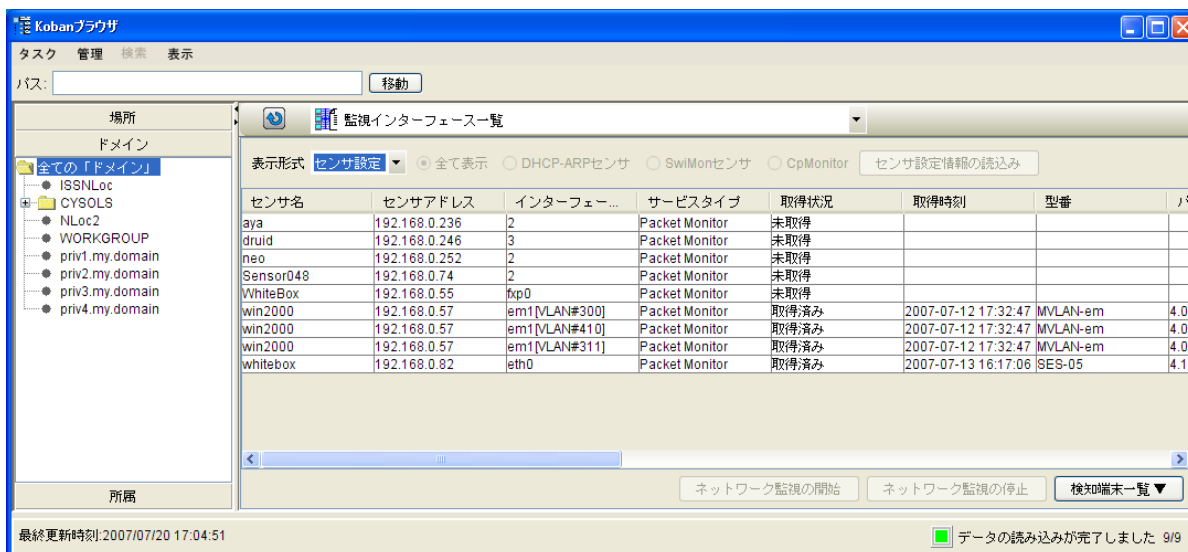
3 ファームウェア一括更新ツール用 CSV ファイルを出力する

ファームウェア一括更新ツール用 CSV ファイルを出力するには、Koban ブラウザにある監視インターフェース一覧から出力します。

監視インターフェース一覧は

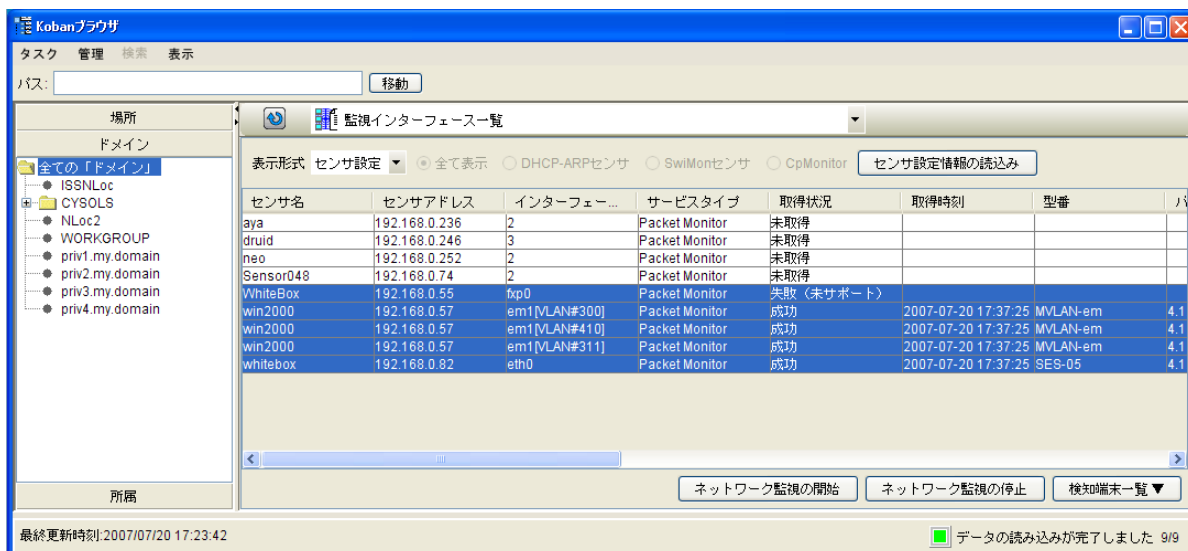
ツールメニューから、「Koban ブラウザ」 - 「監視インターフェース一覧」

を選択することで監視インターフェース一覧が表示されます。



ファームウェア一括更新ツール用ファイルを出力する場合は、

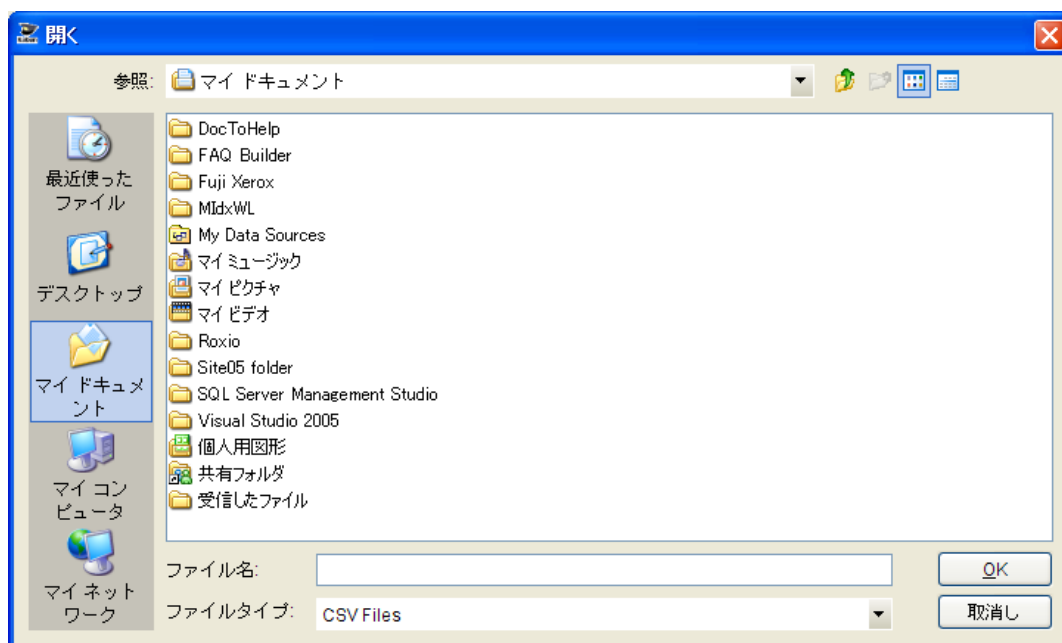
表示形式を“センサ設定”に変えて、任意の行を選択後、「センサ設定情報の読み込み」ボタンをクリックします。



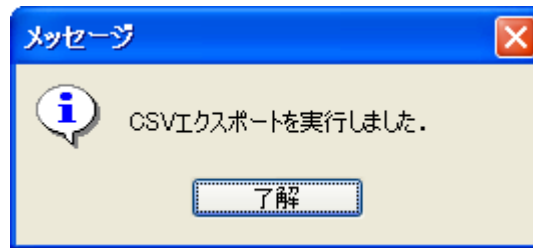
取得状況には以下が表示されます。

取得状況	説明
成功	取得に成功した場合
接続不可	センサに接続できなかった場合（センサが動作しているか、センサの IP アドレスまたはポートの指定が間違っていないかをチェックしてください）
ホスト不到達	センサのホストに接続できなかった場合（センサの IP アドレスが正しいかを確認してください。また、センサのマシンの電源、ネットワークケーブル等をチェックしてください）
失敗（インターフェースなし）	センサ上に指定されたインターフェースが存在しません（登録しているインターフェースが正しいか確認してください）
失敗（未サポート）	センサのバージョンが古い可能性があります（センサのバージョンをチェックし、必要なら更新を行なってください）
失敗（互換性なし）	センサのバージョンがサポート外の可能性があります（センサのバージョンをチェックし、必要なら更新を行なってください）

次に、管理メニューから、「CSV ファイル出力」－「ファームウェア一括更新ツール用」を選択することで CSV ファイル出力画面が表示されます。



CSV ファイルの保存先とファイル名指定後、「OK」ボタンをクリックすると、表示されているセンサ設定の情報が指定した CSV ファイルに保存され、メッセージが表示されます。



表示しているリスト全てが CSV 出力されます。

※ Windows 版 DHCP・ARP センサエージェントが「監視インターフェース一覧」に表示されている場合、出力される CSV ファイルにはその情報も含まれます。ファームウェア一括更新ツールは Windows 版 DHCP・ARP センサエージェントに対応していないので、出力された CSV ファイルをファームウェア一括更新ツールで読み込んだ後に、チェックを外してファームウェア更新を実行してください。

(Ver4.1.0 の DHCP・ARP センサエージェントの場合は型番が「DHCP-ARPSensorAgent」と表示されます。チェックを外さなくても「アップデート用ファイルが見つかりません」となるだけでファームウェア一括更新ツールの動作に影響はありません)

4 出力された CSV ファイルを編集する

CSV ファイルのフォーマットを以下に示します。出力された CSV ファイルの “Username” と “Password” カラムに、それぞれ NetSkateKoban センサ (SES-01-04、SES-05、SES-06、MVLAN、SMVLS-EX-01) へブラウザからログインする際のログイン名(Name)とパスワード(Password)を入力します。センサの HTTP ポートをデフォルトの 80 番から変更している場合には、パスワード (Password) の次のカラムに HTTP ポート番号を入力します。入力を省略した場合にはデフォルトで 80 番ポートが使用されます。

■ CSV ファイルのフォーマット

- CSV ファイルは以下の 7 フィールドに分かれています。
- **赤色で網掛けされているフィールドに関しては入力が必要となります。**
- CSV ファイルでは同じ行に記述されている情報は関連付いているとみなされます。よって、各センサは同じ行に記述されたインターフェースと関連付けられて登録されます。1つのセンサに複数のインターフェースがある場合は、一番最初に記述されたインターフェースの情報のみが使用されます。
- フィールドの順番は以下のリストの順に固定となります。順番を入れ替えることはできません。

フィールド	説明	フォーマット
SensorAddress	NetSkateKoban センサの IP アドレス	IP アドレス。ドット”.” で区切った 4 フィールド、0-255 の十進数 (例 192.168.0.22)
Interface	NetSkateKoban センサのインターフェース名またはインターフェース番号	半角アルファベット、半角記号、半角数字 (例 “eth0”, “2” “fxp0”) マルチ VLAN センサのインターフェースを登録する場合には、インターフェース名に続けて ”[VLAN#” と ”]” で VLAN 番号を囲み、入力します。 (例 “fxp1[VLAN#100]”)
ModelNumber	NetSkateKoban センサの型番	NetSkateKoban センサの型番です。 (例 “SES-01-04”, “SES-05”, “MVLAN-fxp”, “MVLAN-em”)
Version	NetSkateKoban センサのバージョン番号	NetSkateKoban センサの現在のバージョン番号です。 (例 “3.1.0”, “4.0.0”, “4.0.1”)
BuildId	NetSkateKoban センサのビルド ID	NetSkateKoban センサのビルド ID です。 (例 “164520070724”, “103220070624”) CSV ファイルを Microsoft Excel®で編集した場合、ビルド ID の値が変わってしまいますが、ファームウェア一括更新ツールの動作には影響はありません。
Username	NetSkateKoban センサのログイン名(Name)	NetSkateKoban センサに Web ブラウザからログインする際に使用するログイン名を記述します。 デフォルトでは”admin”となっています。
Password	NetSkateKoban センサの	NetSkateKoban センサに Web ブラウザからログイン

	パスワード(Password)	ンする際に使用するパスワードを記述します。 デフォルトでは”NetSkateKoban”となっています。
HTTPPort	NetSkateKoban センサの HTTP ポート番号	NetSkateKoban センサに Web ブラウザから接続する際に使用する HTTP ポート番号を 1 以上、65535 以下の数字で記述します。入力を省略した場合にはデフォルトで 80 番となります。

※ Ver4.0.0 のセンサの場合、“ModelNumber” を別途調べる必要があります。以下の対応表を参照して“ModelNumber”を入力してください。“Version”のフィールドには“4.0.0”を入力します。

製品の型番	ModelNumber
NK4-SES-01	SES-01-04
NK4-SES-02	SES-01-04
NK4-SES-03	SES-01-04
NK4-SES-04	SES-01-04
NK4-SES-05EX	SES-05
NK4-MVLS-EX-B01	MVLAN-fxp
NK4-SMVLS-EX-01	SMVLS-EX-01

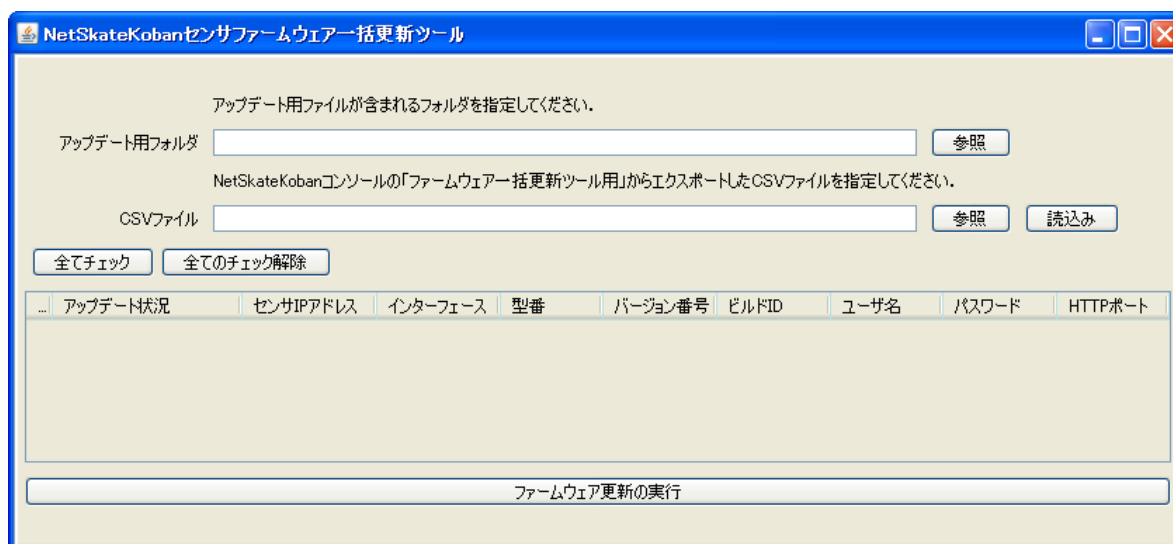
記載例：

```
#SensorAddress,Interface,ModelNumber,Version,BuildId,Username,Password
192.168.0.55,fxp0,SES-01-04,4.0.0,111520070409,admin,NetSkateKoban
192.168.0.55,fxp1,SES-01-04,4.0.0,111520070409,admin,NetSkateKoban
192.168.0.55,fxp2,SES-01-04,4.0.0,111520070409,admin,NetSkateKoban
192.168.0.57,em1[VLAN#300],MVLAN-em,4.0,164520070723,admin,NetSkateKoban
192.168.0.82,eth0,SES-05,4.0.0,143220070624,admin,NetSkateKoban
```

5 NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールを実行する

1. インストールした NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールを実行

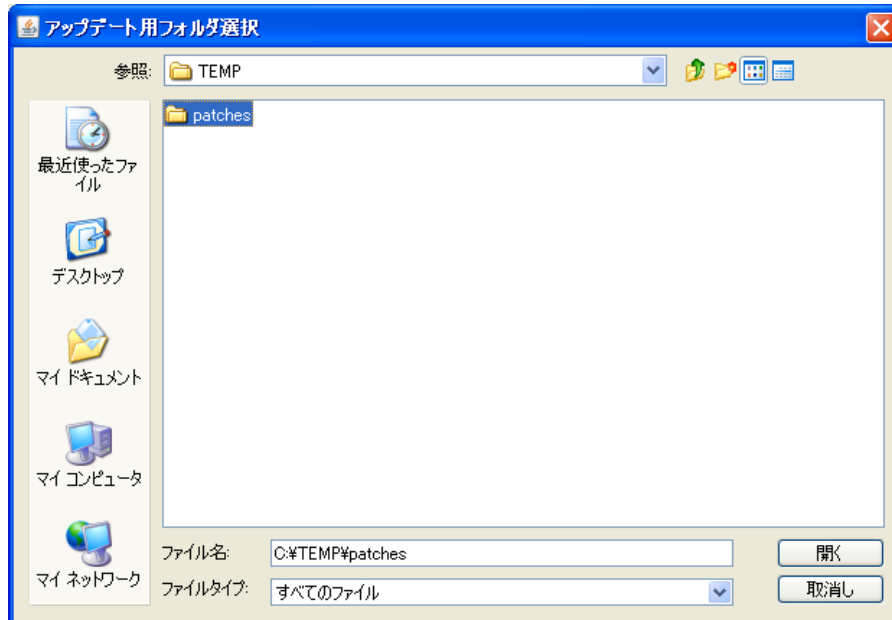
FirmUpdater フォルダ内の FirmUpdater.exe を実行することで NetSkateKoban センサファームウェア一括更新ツールが表示されます。



2. アップデート用ファイルが含まれるフォルダを指定

NetSkateKoban センサの最新のファームウェアがあるフォルダを選択します。

「参照」ボタンをクリックすると、アップデート用フォルダ選択画面が表示されます。

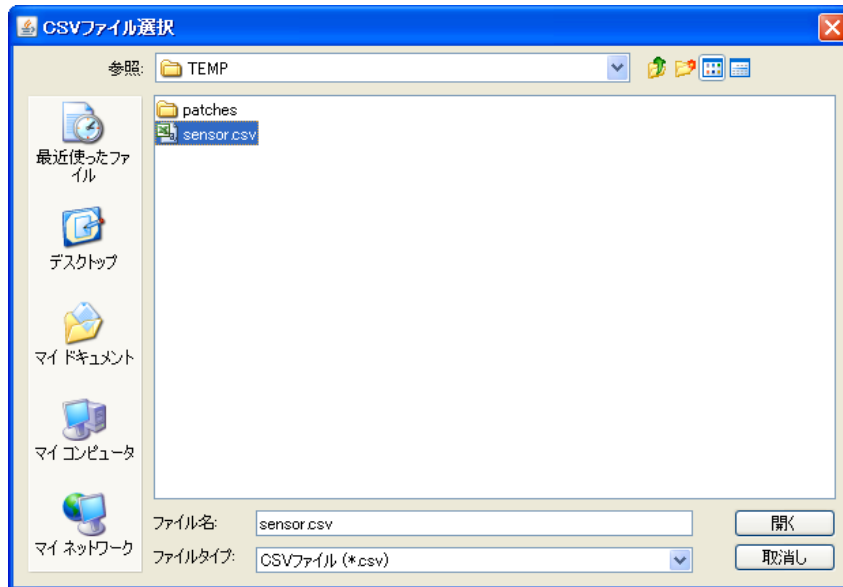


保存先のフォルダを選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。

3. エクスポートしたファームウェア一括更新ツール用 CSV ファイルを指定

Koban ブラウザにある監視インターフェース一覧の「ファームウェア一括更新ツール用」から出力したファームウェア一括更新ツール用 CSV ファイルがあるフォルダを選択します。

「参照」ボタンをクリックすると、CSV フォイル選択画面が表示されます。

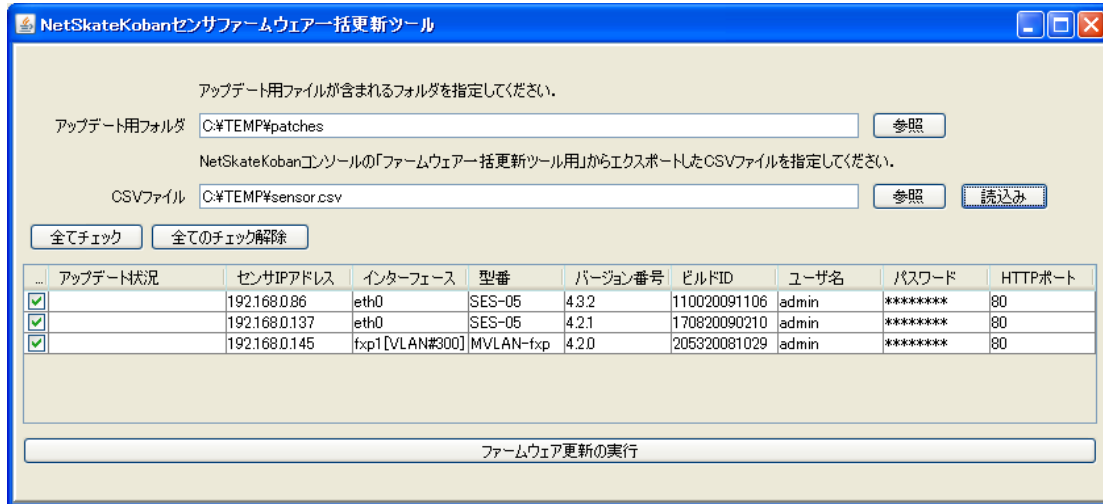


CSV ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。

4. ファームウェア更新の実行

ファームウェアの更新をする NetSkateKoban センサを選択します。

「読み込み」ボタンをクリックすると、NetSkateKoban センサがリストされます。



※「全てチェック」ボタンをクリックすると、全てのチェックボックスがチェックされます。

「全てのチェック解除」ボタンをクリックすると、全てのチェックボックスがチェック解除されます。

また、行を選択して右クリックメニューを開くことで、「選択範囲一括チェック」および「選択範囲一括チェック解除」が実行できます。

ファームウェアの更新をする NetSkateKoban センサのチェックボックスにチェックを付けて、「ファームウェア更新の実行」ボタンをクリックしてください。以下のようにアップデート状況が「実行中...」に変わります。

※NetSkateKoban センサのファームウェアを百数十台更新する場合、実行が完了するのに数十分がかかります。



以下のメッセージが表示されれば、ファームウェア更新処理は終了です。



各 NetSkateKoban センサのファームウェア更新結果に関しては、該当するセンサの「アップデート状況」に表示されます。

NetSkateKoban センサのファームウェアが正常に更新された場合には「更新成功 バージョン：4.1.0」のようにアップデート後のバージョン番号が表示されます。

6 エラー対処

失敗した場合には以下のエラーが表示されます。確認事項を参考にして対応してください。

アップデート状況	説明	確認事項
アップデート用ファイルが見つかりません	対応するファームウェアアップデート用ファイルが指定したアップデート用フォルダに見つからなかった場合に表示されます。	アップデート用フォルダに対応する型番とバージョンのファームウェアアップデート用ファイルが存在するか確認してください。
ログインに失敗しました	NetSkateKoban センサへのログインに失敗した場合に表示されます。	CSV に記述したログイン名とパスワードが正しいか確認してください。
アップデート用ファイル適用に失敗しました	ファームウェアアップデート用ファイル適用後にバージョン番号の確認ができなかった場合に表示されます。	バージョン4.0.1以前のファームウェアアップデート用ファイルを使用した場合にはこのエラーが表示されます。Web ブラウザで NetSkateKoban センサにアクセスし、「Sensor Status」の「Sensor Version」でバージョン番号を確認してください。
接続を確立できませんでした	NetSkateKoban センサへの接続が確立できなかった場合に表示されます。	NetSkateKoban センサが起動しているか確認してください。電源が入っていない場合には電源を入れてください。 また、CSV ファイルに記述されたセンサの IP アドレス、および HTTP ポート番号が正しいか確認してください。
I/O エラーが発生しました	上記以外の入出力エラーが発生した場合に表示されます。	NetSkateKoban センサと Web ブラウザでの通信が可能かどうか確認してください。
不正なアップデート用ファイルです	ファームウェアアップデート用ファイルにアップデート用のプログラムが含まれていない場合に表示されます。	アップデート用フォルダに置いたファームウェアアップデート用ファイルが正しいか確認してください。